



大すき汐入

5月号

誰かのためは、自分のため

校長 小黒 裕子

今日はどんな雲かなと空を見上げるこの頃です。先日、5年生が理科で「雲と天気の変化」の学習で雲の写真を撮り、最後にどれが好きかと投票をしていました。私も参加させてもらいました。選ばれて喜んだり、選ばれず悔しがったり、学習から派生した活動に気持ちの変化も表れているのいいと思いました。気象レーダーや気象衛星がなかった時代は空の様子で天気を予想したのだと思うと雲と天気の関係も知りたくなりました。また、校舎の中では、1年生がタブレットを持って、気になる場所の写真を撮っていました。「〇〇ちゃん、撮ろう。」「〇〇ちゃん、こっちだよ。」グループで声を掛け合って、楽しそうです。タブレットの持ち方や写真を撮る許可の取り方などを事前に教室で教わり、廊下の歩き方、部屋の出入りの挨拶など、その場で会った先生方に声をかけてもらいながら覚えていきました。

学校の顔である6年生は、第1回の縦割り班のふれあい活動で、しっかりとリードしていました。自己紹介の後、手作りの名刺を配る場面でも、下級生で固まってしまう子にも緊張をほぐしながら一緒に動いていました。そんな優しい6年生の姿を見ると「情けは人のためならず」だと感じます。このことわざは、「他の人のために良い行いをすれば巡り巡って自分にも良いことが返ってくる」という意味です。誰かのために尽力することが学校全体をよくし、自分自身も誇りをもてる環境につながっていきます。

教科学習の場面でも、「誰かのためは、自分のため」につながります。学級の問題解決の発言するとき、説明を聞く子どもたちの理解や思考の助けになるだけでなく、説明をする子どもは自分ができたうれしさを表したり、分かりやすく説明しようと工夫したりでき、自信や思考・表現の深まりにつながっています。

豊かに学び合って、「スマイリーしおいら」をつくってほしいです。

最後に海外の「情けは人のためならず」と似た表現を紹介します。

a bondade não existe apenas para o bem dos outros/ Hoy por ti, mañana por mí
/好心总会有好报/ Ở hiền gặp lành Kebaikan akan kembali kepada diri kita sendiri.
/Kindness always comes back to you. / यो त भलो गर्यो भने भलो नै हुन्छ।
Ang kabutihang loob ay bumabalik din sa gumagawa. / Thương người như thể thương thân/
가는 말이 고와야 오는 말이 곱다

まだまだたくさんあると思います。ぜひ、紹介してください。